



えりも・天馬 えりも

とんがりロード フットパス

ハートの形をした神秘の湖を歩く湖道コース。
伊能忠敬や松浦武四郎も歩いた歴史ある猿留山道コース。
悲しい恋物語が残る悲恋沼と砂丘が続く百人浜海道コース。



■湖道コース・猿留山道コース

【コースガイド】※△は猿留山道コース

- 距離：往復約9km（約6km）
- 所要時間：約4時間30分（約3時間）

湖道コースは日高管内では唯一の天然湖である豊似湖から猿留山道を通り、沼見峠で折り返すコース。沼見峠からは“ハート”的形をした豊似湖が右手に、太平洋の景観が左手に望むことができる。また峠から約10分、稜線に連なる頂きからは、えりも岬を眺めることもできるので、是非足を延ばしてみたい。

猿留山道コースは豊似湖の景観を楽しみながらも、山道の魅力をより堪能するコース。途中ロープを伝わって下りる崖や川を渡る箇所もあり、とんがりロードのフットパスコースの中では一番の野趣あふれるコースになっている。

【コース情報】※△は猿留山道コース

- 難易度：3段階レベルの2（3段階レベルの3）
- トイレ：豊似湖駐車場のみ
- 休憩場所：沼見峠（特別な施設は無い）
- 食事場所：ルート沿線及び近くに無し
- 交通：国道336号を目黒で左折（えりも岬からの場合）約5Km（7Km）で豊似橋
- コースサイン：要所に設置
- 駐車場：豊似湖駐車場（豊似橋にも数台駐車可能）
- 歩行適期：5月～11月
- 問合せ先：えりも町役場産業振興課 TEL 01466-2-2111
- 温泉：町内には温泉施設は無い。百人浜オートキャンプ場近くの高齢者センターの風呂が利用できる。
- 自然情報：豊似湖畔のガレ場にナキウサギが生息しているが、最近あまりみかけなくなった。
- 注意事項：一帯はヒグマの生息域につき、単独行動は控えるとともに音や声を出しながら歩こう。



森の木々に囲まれて
ひっそりと佇む豊似湖



- 湖道コース ■（青）①～⑤／S スタート①豊似橋▶②豊似湖駐車場▶③豊似湖畔▶④猿留山道分岐点▶⑤沼見峠▶④猿留山道分岐点▶③豊似湖畔▶②豊似湖駐車場▶①豊似橋 G ゴール
- 猿留山道コース ■（茶）②～⑥／S スタート②豊似湖駐車場▶③豊似湖畔▶④猿留山道分岐点▶⑤沼見峠⑥林道合流分岐点 G ゴール
- サブルート ■（オレンジ）— 茶⑤～②／ゲート・スタート▶⑤沼見峠▶④猿留山道分岐点▶③豊似湖畔▶②豊似湖駐車場・ゴール

■百人浜 海道コース

【コースガイド】

- 距離：約5km
- 所要時間：約1時間30分～2時間

穏やかな海岸砂丘が続く百人浜を巡るコース。潮験を感じながら思い思いに歩く砂浜では、運がよければチョウチョウウガイが見つかるかもしれない。悲恋沼周辺や砂丘には海浜植物の群落も数多い。コースの途中にある展望観察塔では360度のパノラマが楽しめる。

【コース情報】

- 難易度：3段階のレベル1
- トイレ：百人浜オートキャンプ場管理棟内 4月～10月オープン TEL 01466-4-2168
- 休憩場所：キャンプ場、百人浜緑化事業観察塔
- 食事場所：沿線及び近くになし。食堂があるえりも岬まで車で10分
- 交通：道道34号（襟裳公園線）をJRバスの定期バスが毎日5～6本通る
- コースサイン：要所に設置
- 駐車場：キャンプ場と悲恋沼付近の道道脇にある
- 歩行適期：春～秋
- 問合せ先：えりも町役場産業振興課 TEL 01466-2-2111
- 温泉：町内には温泉がないが、キャンプ場から150mのところにある高齢者センターの風呂が利用できる。大人300円
- 自然情報：海岸砂丘にはハマナス・ハマニンニク・ハマエンドウ・センダイハイギ等の海浜植物、キャンプ場周辺の海岸林にはミズナラ・カシワが多い。襟裳岬の岩礁には1年中ゼニガタアザラシが生息している。海岸では打ち上げられた漂着物探しを楽しんでもよい。渚の砂を掘るとヨコエビなどが出てくる。



↑観察塔からは360度の
パノラマが楽しめる

←海浜植物や高山植物
が群生する悲恋沼



- S スタート①百人浜オートキャンプ場▶②パークゴルフ場（WC）
- ③百人浜▶④海岸砂丘▶⑤百人浜緑化事業観察塔▶⑥遊歩道入口
- ⑦悲恋沼▶G ゴール